

第27回埼玉県理学療法学会

埼玉が誇る理学療法 最前線 ～日本を牽引する埼玉の底力～

日程

2019年
1月13日(日)
10:30～17:00

学会長

前園 徹
(上尾中央医療専門学校)

会場

大宮ソニックシティ

主催



公益社団法人 Saitama Physical Therapy Association
埼玉県理学療法士会

<http://www.gakkai.saitama-pt.or.jp/27/>



The 27th Saitama Physical Therapy Congress

第27回埼玉県理学療法学会

目 次

ごあいさつ

第27回埼玉県理学療法学会 学会長 2

公益社団法人埼玉県理学療法士会 会長 3

交 通 案 内 4

会 場 案 内 5

参加者へのお知らせ 8

演者・座長の方々へ 10

各賞表彰について 13

リハビリテーション機器展示のご案内 14

託児室のご利用について 18

日 程 表 19

プログラム

講 演 22

シンポジウム 24

一 般 演 題 25

講演抄録

基 調 講 演 36

市民公開講座 37

教 育 講 演 38

シンポジウム 40

自主企画シンポジウム 44

一般演題抄録

口 述 発 表 48

ポスター発表 63

査読者一覧 86

第27回埼玉県理学療法学会運営組織図 87

後援・埼玉県理学療法士会賛助会員ご芳名 88

ごあいさつ

第27回埼玉県理学療法学会

学会長 前園 徹

第27回埼玉県理学療法学会は、「埼玉が誇る理学療法 最前線 ～日本を牽引する埼玉の底力～」を学会テーマに、平成31年1月13日に大宮ソニックシティにおいて開催致します。

平成31年は、埼玉県内においてラグビーのワールドカップも行われます。翌年は、東京オリンピックにおいても埼玉県内で行われる競技もあり、いろいろな意味で埼玉ファースト・オール埼玉といった機運があがっております。地域包括ケアシステムが目指しているように、地域の時代です。埼玉県内の理学療法士も多種多様な新たな取り組みをしています。臨床で教育現場で、そして研究を通して、県内で活躍しているトップランナーや若手の紹介を通して、埼玉県内の理学療法の現状と挑戦を共有することによって、埼玉一丸となれるようにだれでも気軽に足を運んでもらえる学会としたいと思います。

まず基調講演前のオープニングリマークスとして、学会長による「埼玉県理学療法の源流」および、基調講演として「埼玉が誇る理学療法 ―姿勢制御から考える動作評価―」を予定しております。またシンポジウムとして「理学療法評価 ―若手がおさえるべき評価の基本と実践―」、教育講演として「急性期理学療法に期待すること」「がんの理学療法」、加えて一般の方にも幅広くお聞きいただけるような市民公開講座を予定しております。

また、一般演題では口述発表とポスター発表を企画しております。特に、口述発表は指定演題を含め30演題の発表があり、中でも指定演題は「地域での取り組み」や「臨床研究」をテーマに発表していただき、広く知見を共有できるよう準備しております。また、ポスター発表も45演題行われますので、若手の理学療法士も含め、日頃の臨床・研究・教育の成果発表とともに日常業務における工夫などを共有する場としても機能することを期待しております。

さらに、本学会より「自主企画シンポジウム」を新たに企画しております。本企画の目的は、「埼玉の理学療法 最前線」というテーマに基づき、地域で実践されている理学療法士を中心とした多様な取り組みについてのシンポジウムを実施することで、医療福祉・行政・地域住民の皆様など地域で力を合わせ一丸となって取り組んでいる様々な方と意見を交換し交流を得ることです。そして埼玉県理学療法士会が、積極的にこれからの地域づくりにむけた役割を果たすことを期待しております。

つきましては誠に恐縮ではございますが、本学会の趣旨をご賢察いただき、多くの方々の参加を賜りますよう切にお願い申し上げます。

そして、本学会が皆様のこれからのすばらしい活動の一助となることを願っております。

ごあいさつ

公益社団法人 埼玉県理学療法士会
会 長 南本 浩之

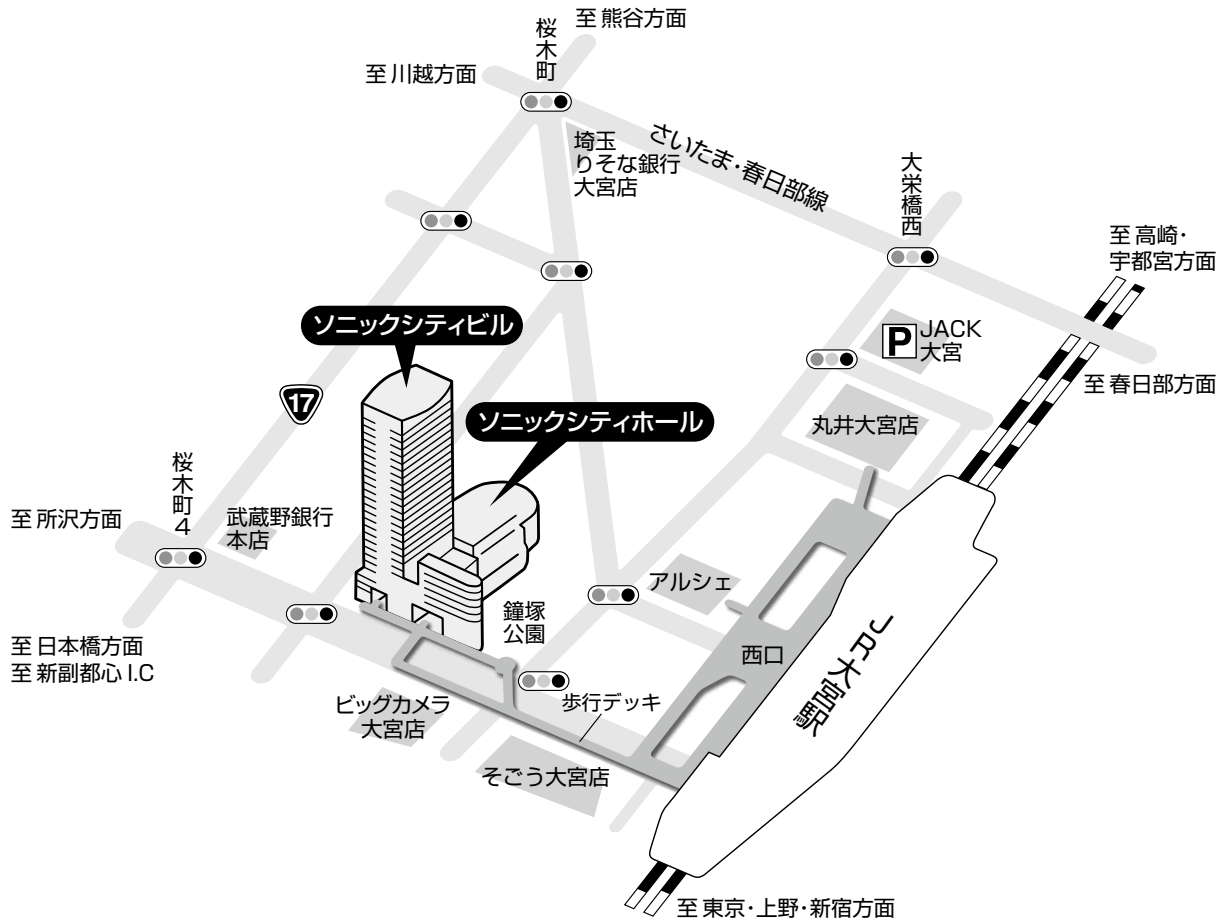
埼玉県理学療法士会の目的は、理学療法士として人格・知識・技術を高め理学療法の質向上を図り、理学療法を県民の皆様方に普及啓発し、医療・保健・福祉の増進に寄与することです。そのために理学療法(士)の質向上を目標の一つに立てており、会員の学術振興を図ることは、目的を果たすために重要と考えております。

埼玉県は、急速に75歳以上の高齢者が増加する県と言われております。その中、地域包括ケアシステムの充実が、急がれております。地域住民が、自助・互助・共助・公助を有効活用し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現への取り組みが、重要視されております。この中、2018年度の医療・介護・障害福祉の報酬改定が行われ、2025年に向け具体的な改革が進んできております。埼玉県においても、地域包括ケアシステムの充実が図られ、当士会としても地域支援事業などの活動に協力をしてきております。また、2019年は、埼玉県内においてラグビーのワールドカップが行われます。2020年は、東京オリンピックにおいて埼玉県内でいくつかの競技が行われます。当士会内においても、スポーツサポート事業に積極的に関わってきております。今学会のテーマである「埼玉が誇る理学療法 最前線 ～日本を牽引する埼玉の底力～」は、様々な士会員の活動を報告し、皆様方で討論できれば、より深く考え次につながる活力につながるものと思っております。まさにオール埼玉、埼玉の底力を今後も大きく発展させていくためにも重要な学会になると思っております。

埼玉県理学療法学会は、第27回を迎えることが出来ました。会員数が4,600人を超え、毎年多くの会員や関連職種の方が、学会へご参加を頂くようになりました。ご参加いただいた皆様方にゆとりを持って学び合って頂けるよう、大宮ソニックシティの大ホールで開催をいたします。また、埼玉県の理学療法の過去・現在・未来を考えられる学会であり、日頃の臨床・研究・教育の成果発表とともに日常業務における工夫などを共有する場としても機能することと思われまふ。是非、聴講をお勧めしたい内容となっております。同時に科学的な根拠を求め、自らを研鑽する学術研究活動の発表も行われます。発表者は、日頃の努力を他者に伝える場として、そして発表を聞いた方々は、内容を考え自分の意見を伝える場として、お互いが伝える場となり、相互に考え気づきの場となるのが、演題発表の場になると思います。多くの方にご参加いただき、活発な意見交換ができれば、皆様方の質向上に役立つこと間違いないと思っております。

是非、第27回埼玉県理学療法学会にご参会頂き、この理学療法の変革期・拡大期における埼玉県の底力を今後もさらに発展し、深化させていくことを一緒に考えていければと思っております。また、今学会が、皆様方の活動の一助になることを願っております。

交通案内

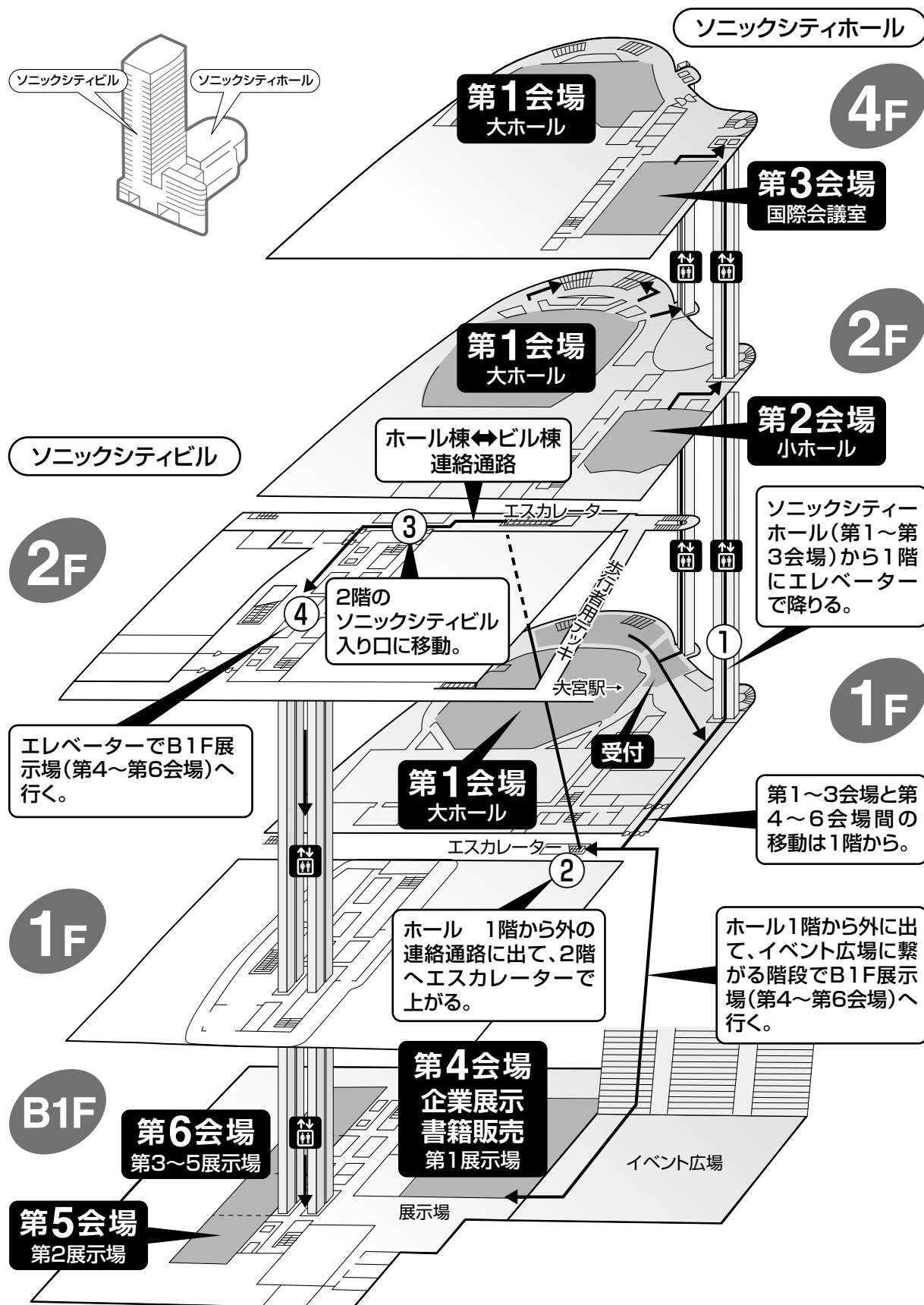


◆新幹線	東北・北海道新幹線	新函館北斗 (直通218分)	新青森 (直通180分)	盛岡 (直通122分)	仙台 (直通75分)	福島 (直通63分)	宇都宮 (直通24分)
	秋田新幹線	秋田 (直通214分)					
	山形新幹線	山形 (直通130分)					
	上越新幹線	新潟 (直通100分)				高崎 (直通25分)	
	北陸新幹線	金沢 (直通125分)	富山 (直通105分)	長野 (直通60分)			
◆在来線	東北・上越北陸新幹線	東京 (直通23分)					
	JR湘南新宿ライン	横浜 (直通55分)			新宿 (直通27分)	池袋 (直通21分)	
	JR上野東京ライン	東京 (直通36分)	上野 (直通25分)				
	東武野田線	船橋 (直通96分)				春日部 (直通15分)	
◆空港から	JR成田エクスプレス	成田空港	直通 108分				
	京成スカイライナー	成田空港	上野乗換／JR高崎・宇都宮線利用 84分				
	高速バスONライナー	成田空港	直通 120～140分				
	モノレール	羽田空港	浜松町乗換／JR京浜東北線利用 64分				
	高速バス	羽田空港	直通 95～105分				

大宮駅

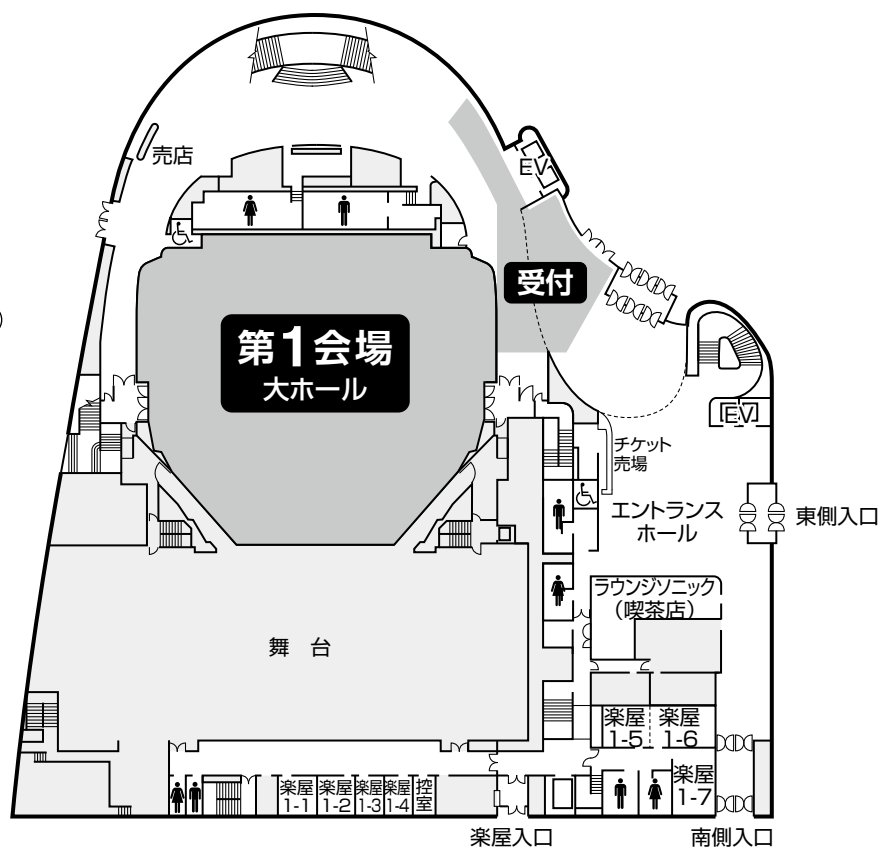
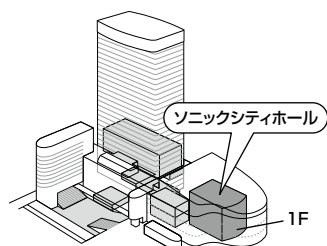
会場案内

第1～3会場から第4～6会場(ポスター会場・自主企画・書籍販売・企業展示)への移動について



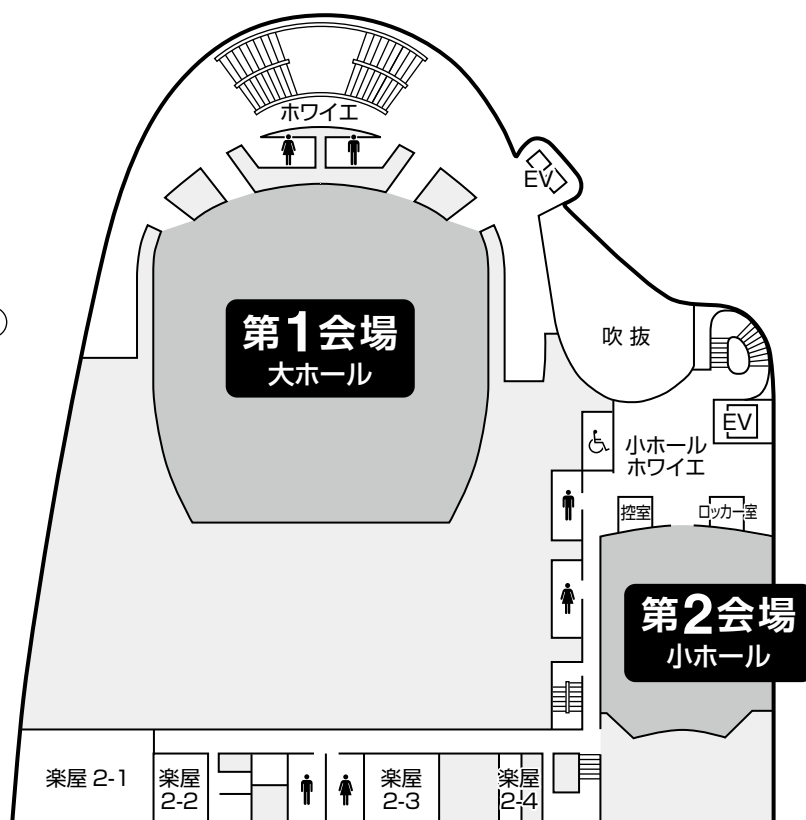
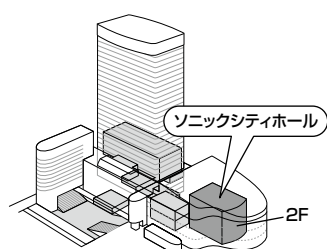
ソニックシティホール

1F

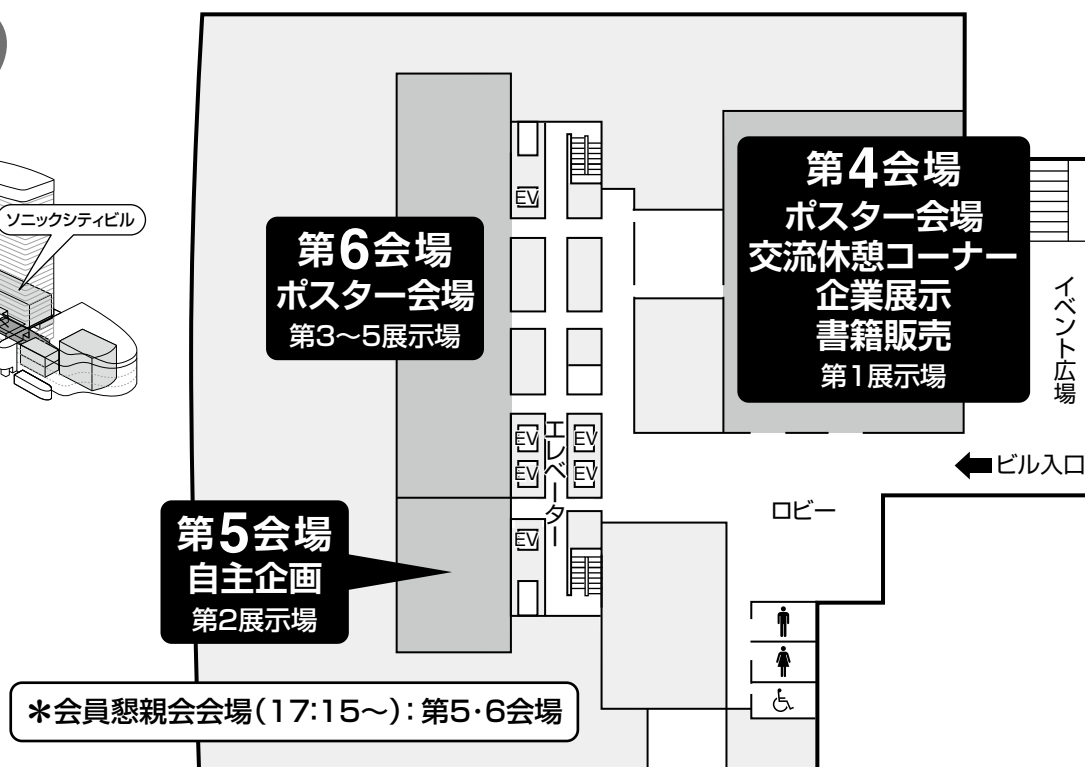
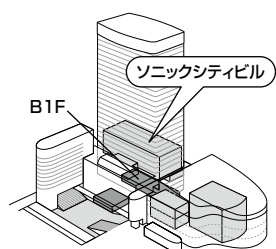
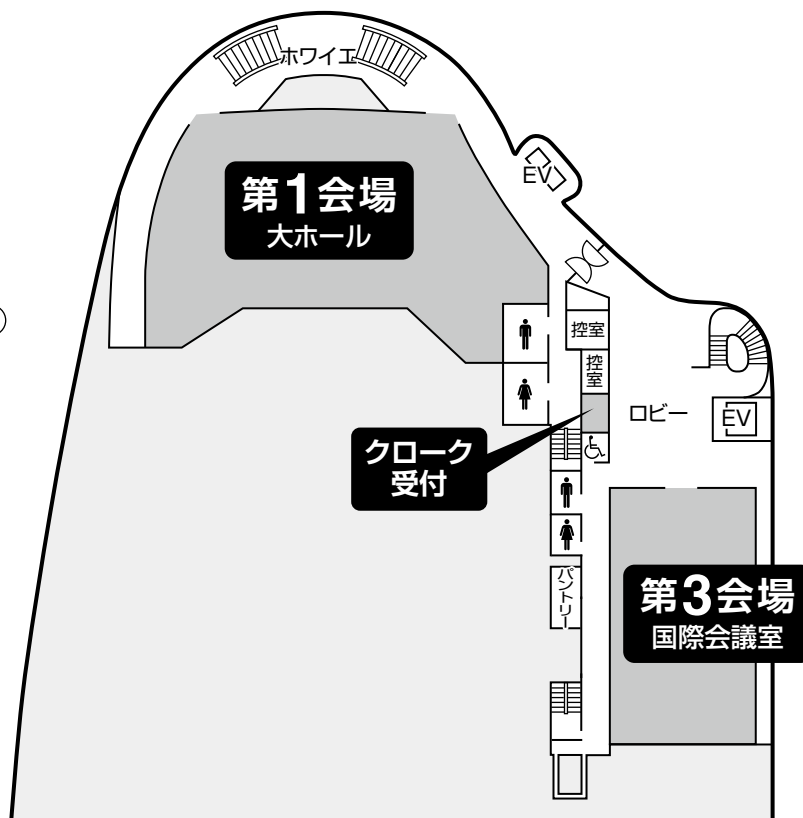
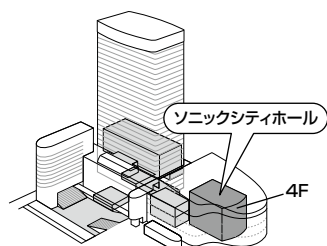


ソニックシティホール

2F



4F



参加者へのお知らせ



会員の方は、当日「日本理学療法士協会会員証（以下、会員証）」を忘れずにご持参下さい。

また、事前参加登録をされている方は振込確認メールを確認できるようにご準備ください。

本学会は、会員証による会員証明・参加受付・ポイント管理のシステムを導入しております。

1. 参加者受付について

受付時間	平成31年1月13日（日）9:30～	
受付場所	ソニックシティホール 1階 ホワイエ	
参加費	県士会員	4,000円（事前登録入会5年目まで：無料） （事前登録入会6年目以上：2,000円）
	他県士会員	4,000円（事前登録：4,000円）
	非協合理学療法士	10,000円（当日受付のみ）
	理学療法士以外の医療福祉専門職	4,000円（当日受付のみ）
	理学療法養成校学生（大学院生除く）	無料（当日受付のみ） ※学生証をご提示下さい。
	一般	無料
事前登録者受付	会員証と振込確認メールを必ず持参してください。 「事前登録者受付」にご提示下さい。	
当日受付	会員証を必ず持参し、「当日受付」にご提示いただき、参加費を納入して下さい。	
来賓受付	評議員・講師の方は他の受付を通らず、「来賓受付」にお越し下さい。	
一般演題演者	参加者受付後、「演者受付」にお越し下さい。	
座長受付	参加者受付後、「来賓受付」にお越し下さい。	

※当日は、会員証と振込確認メールを必ず持参下さい。会員証をお持ちでない場合、受付手続きに時間がかかる場合がございます。（重要）

※事前登録者受付では、振り込み状況の確認を行っております。万が一、振り込み状況が確認できない場合には再度参加費をお支払いいただくこともございます。そのため、振込確認メールを確認できるようにご持参頂きますようお願い申し上げます。（重要）

※受付で名札兼領収書とネームホルダーをお受け取り下さい。名札に所属・氏名をご記入の上、確認できる場所に着用して下さい。また、退場時にはネームホルダーのご返却をお願いいたします。

※他県士会員、非会員および学生の方は、「当日受付」窓口にお越しいただき、「参加登録票」に必要な事項をご記入の上、受付と参加費の支払いを行って下さい。

2. 会場内での注意事項

ネームホルダーの着用	着用を確認できない場合、入場をお断りする場合がございます。
飲食禁止	館内は飲食禁止です。昼食は会場周辺の飲食店をご利用下さい。
館内禁煙	館内は全館禁煙です。所定の喫煙所をご利用下さい
撮影禁止	参加者のビデオ・写真の撮影は禁止です。会場スタッフは、記録用に撮影をさせていただきますので、予めご了承ください。

3. その他

- ・クロークは4階国際会議室前ホールにあります。【ご利用時間：9:30～:17:30】
- ・館内での呼び出しは致しません。
- ・ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。
- ・受付で学会誌を販売しています(1部 500円)。購入希望の方は、受付にお声掛け下さい。

◆ 学会長賞・学会奨励賞

本学会では、優秀な発表に対して、学会長賞と学会奨励賞を選考致します。選考は、査読者・座長・評議員の評点と学会参加者の投票との合計点により選考されます。参加者の皆様は、最も優秀と思われる発表演題について、会場各所にある QR コードからの投票、もしくは受付にある投票用紙にご記入の上、投票箱にご投票ください。

◆ 生涯学習システムの単位認定について

本学会参加により「新人教育プログラム」の単位、「専門・認定理学療法士」に関わるポイントが取得できます。単位およびポイントは、学会終了後に日本理学療法士協会ホームページの各会員マイページ上に自動的に反映されます。単位認定につきましては、会員証が必要です。忘れずにご持参下さい。お席には限りがありますので、入場をお断りする場合もございます。予めご了承下さい。

1. 新人教育プログラム履修中の方

区 分	理学療法の臨床		単位	備 考
基調講演	C-1	神経系疾患の理学療法	1	各会場にて QR コードを配布しますので、そこから各自で申請をお願いいたします。
教育講演Ⅰ	D-1	社会の中の理学療法	1	
教育講演Ⅱ	C-3	内部障害の理学療法	1	
シンポジウム	B-2	クリニカルリーズニング	1	
演題発表	C-6	症例発表	3	演者受付時に登録致します。
学会準備	C-7	士会活動・社会貢献	1	

※受講された項目のポイントのみ申請が可能となります。また、途中入場、途中退室は認められませんのでご注意ください。

2. 専門領域研究部会に登録されている方

区 分	ポイント	備 考
参加者 1-6)	10ポイント	受付時に登録致します。 会員証を必ず持参ください。
発表者 4-4)	参加ポイント+5ポイント	演者受付時に登録致します。
座 長 4-8)	参加ポイント+5ポイント	座長受付時に登録致します。
査読者 6-4)	2ポイント	運営側にて登録致します。
講 師 4-3)	10ポイント	講師受付時に登録致します。

演者・座長の方々へ

1. 口述発表者要領

1-1. 受付について

受 付 場 所	ソニックシティホール 1階 ホワイエ 「演者・座長受付」
受 付 時 間	9:30～11:30
注 意 事 項	■ 受付時に、生涯学習システムの単位認定の手続きを行って下さい。 ■ 受付にある備え付けの PC にて動作確認を行って下さい(10分程度)。

1-2. 発表について

発 表 場 所	ソニックシティホール 2階 小ホール・4階 国際会議室
発 表 時 間	セッション1・4 13:00～14:00 セッション2・5 14:10～15:10 セッション3・6 15:20～16:20 } ※発表時間7分以内、質疑応答3分以内
注 意 事 項	■ 発表時間を厳守して下さい。 ■ 演者自身の映写トラブルによる時間延長は認めません。 ■ 終了1分前に黄色ランプ、終了時に赤ランプでお知らせします。 ■ 演題上の PC にて、モニターを確認しながらマウスまたはキーボードのカーソルボタンにて画面送りの操作をお願いいたします。 ■ 発表時の画面送りは、原則、演者自身にてお願いいたします。画面送りを依頼する場合は、受付の際にお知らせ下さい。 ■ レーザーポインターを演題上にご用意いたしますので、適宜ご利用下さい。 ■ 発表内容が抄録と相違しないよう注意して下さい。 ■ 次演者の方は、発表開始の10分前までに次演者席にご着席下さい。

1-3. スライドデータについて

デ ー タ 形 式	Windows 版 Microsoft PowerPoint 2007 形式(拡張子「.pptx」形式)
フ ァ イ ル 名	「会員番号(半角)-演題番号(半角)-演者名」 例)会員番号 0001 演題番号 50 の演者が埼玉太郎の場合 → 0001-50- 埼玉太郎
枚 数 制 限	枚数制限はありませんが、発表時間内に収まるように注意して下さい。
注 意 事 項	■ 当日使用するコンピュータ(Windows)は、学会主催者側で準備致します。 ■ 持ち込み PC の使用は出来ませんので、予めご了承下さい。 ■ スライドのデザインや背景が複雑な場合、投射時に問題が生じる場合がありますので、ご注意下さい。 ■ 動画は使用できませんので、予めご了承下さい。 ■ 予め作成したパソコンとは別のパソコンで動作確認した上でお持ち下さい。 ■ スライドデータの入った電子媒体(USB 等)は、ウイルス対策を行って下さい。 ■ スライドデータは、発表終了後に学会事務局が責任を持って消去致します。

2. ポスター発表演者要領

2-1. 受付について

受 付 場 所	ソニックシティホール 1階 ホワイエ 「演者・座長受付」
受 付 時 間	9:30～11:30
注 意 事 項	受付時に、生涯学習システムの単位認定の手続きを行って下さい。

2-2. 発表について

発 表 場 所	ソニックシティビル 地下1階 第1展示場・第3～5展示場
発 表 時 間	セッション7・9 13:00～14:00 セッション8・10 14:10～15:10
注 意 事 項	フリーディスカッション形式で行いますので、演者はポスターの前で質疑に対応して下さい。

2-3. ポスター作成・貼付・撤去について

貼 付 時 間	9:30～11:30	撤 去 時 間	15:10～16:00	掲 示 規 格	
注 意 事 項	■ パネルの掲示規格に従って、発表内容をご用意下さい。少し離れたところからもはっきり見えるように工夫して下さい。 ■ パネルに直接の書き込みや糊付けは行わず、学会主催者側が用意した画鋏で止めて下さい。 ■ 左上部の演題番号は、学会主催者側で用意します。 ■ 発表内容が抄録と相違しないよう注意して下さい。 ■ 指定された時間帯に演者がポスター貼付および撤去を行って下さい。 ■ 撤去時間を過ぎたポスターは、学会主催者側で処分させていただきます。			演題 番号	写真・演題名・所属・氏名 縦20cm×横70cm以内
				本文・図表 縦150cm×横90cm以内	

3. 座長へのお知らせ

受 付 場 所	ソニックシティホール 1階 ホワイエ 「演者・座長受付」
受 付 時 間	9:30～
注 意 事 項	■ <u>口述発表の座長の方</u>は、担当セッション開始の10分前までに、会場の次座長席にお付き下さい。 ■ <u>ポスター発表の座長の方</u>は、担当セッション開始時間までに、各セッションのポスター会場にお越し下さい。 ■ 担当のセッション(口述)では、時間厳守での進行をお願いいたします。 ■ 抄録と発表内容が大幅に異なる場合は、その場で演者に注意して下さい。 ■ やむを得ず、学会当日に欠席される場合は、お早めにご連絡下さい。

4. 自主企画シンポジウム演者要領

4-1. 受付について

受 付 場 所	ソニックシティホール 1階 ホワイエ 「参加者受付」
受 付 時 間	9:30～11:30

1-2. 発表について

発 表 場 所	ソニックシティホール 4階 国際会議室 ソニックシティビル 地下1階 第2展示場		
発 表 時 間	自主企画Ⅰ・Ⅱ 11:00～12:00 自主企画Ⅲ 13:00～14:00 自主企画Ⅳ 14:30～15:30	}	※発表時間前15分間で準備 発表時間後15分間で片付け
注 意 事 項	■ 受付後、発表会場へ直接お越しいただき、各会場の係員へお声かけ下さい。 ■ 発表時間は60分とし、発表時に必要な PC (Mac の場合は変換コネクタを含む)等は各自で準備して下さい。備え付けのマイク、プロジェクター、スクリーン、机、椅子は使用可能です。 ■ 会場設営は企画者側での実施となります。プログラムの関係上、設営時間15分、片付け時間15分となっております。時間厳守にご協力下さい。 ■ 終了後はすみやかに次のセッションに会場を引き渡して下さい。 ■ 当日の打ち合わせ会場は特にありません。規定に沿って発表して下さい。 ■ 発表内容が抄録と大幅に相違のないよう注意して下さい。		

第27回埼玉県理学療法学会 各賞表彰について

第27回埼玉県理学療法学会では、理学療法に関する学術研究を社会に報告し還元すること、会員の学術活動を活性化し優秀な理学療法士の研究者を育成すること、埼玉県理学療法士会をさらに発展させることなどを目的として、学会長賞および学会奨励賞を選考いたします。

選考方法は投稿時における査読委員による採点と学会開催中に学会長・県士会長・評議員による採点、座長による採点、ならびに当日の一般投票により包括的に審議し、学会長賞1演題および学会奨励賞3演題を決定いたします。

なお、学会長賞および学会奨励賞が決定いたしましたら、筆頭演者にご連絡いたします。

リハビリテーション機器展示のご案内

出 展 場 所	ソニックシティビル 地下1階
開 催 時 間	9:30～16:30

託児室のご利用について

学会参加者のために託児室を開設いたします。お子様連れで学会に参加される方は、ぜひご利用下さい。

なお、準備の都合上、事前申し込みとなります。当日の申し込みは受付できませんので、ご注意下さい。

【概要】

日 時	平成31年1月13日(日) 9:30～17:30
会 場	大宮ソニックシティ ※場所の詳細は申込された方にお伝えいたします。
対 象 年 齢	生後3ヶ月から小学生低学年まで
費 用	無料 ※オムツなどの実費は除きます。
利 用 対 象	埼玉県理学療法士会会員
申 込 方 法	学会ホームページより利用申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてママMATE 埼玉支部まで直接お申し込みください。受信後は、ママMATEより直接お電話させていただきます。 詳細については、学会ホームページをご覧ください。
申 込 締 切	平成31年1月5日(土) 18時まで

※委託先は「株式会社ママMATE」になります。

※ホームページ <http://www.mama-mate.jp>

※万が一の場合に備え、シッター会社が保険に加入しております。保険適応範囲で補償いたします。第27回埼玉県理学療法学会及び大宮ソニックシティは、事故の責任を負わないことを申し添えます。

※キャンセルの場合は必ずご連絡下さい。

当日及び緊急時の連絡先：090-3658-4093(担当：白石)

【問い合わせ先】

電子メールアドレス	saitama@mama-mate.jp
件 名	「第27回埼玉県理学療法学会 託児室問い合わせ」
電 話 番 号	株式会社ママMATE 埼玉支部 担当：白石 TEL&FAX：048-752-7711(平日9:00～18:00)

平成31年1月13日(日) 大宮ソニックシティ

ソニックシティホール			ソニックシティビル 地下1階			
第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	
1F 大ホール	2F 小ホール	4F 国際会議室	第1展示場	第2展示場	第3～5展示場	
9:30 9:30～ 受付開始			9:30 ↓ 16:30 機器 展 示 ／ 書 籍 販 売 ／ 休 憩 ・ 交 流 コ ー ナ ー	9:30～11:30	9:30～11:30	
10:00 10:00～ 開 場				ポスター 貼り付け		ポスター 貼り付け
10:20～ 開 会 式 10:40～11:00 オープニング リマークス	埼玉県理学療法の源流 講師：前園 徹					
11:00 11:00～12:20 基調講演 埼玉が誇る 理学療法 —姿勢制御から 考える動作評価— 講師：星 文彦 座長：前園 徹	11:00～12:30 教育講演Ⅱ がんの理学療法 講師：高倉 保幸 座長：大熊 克信	11:00～12:00 自主企画 シンポジウムⅠ 「症例報告・研究 論文」書き方講座！ （基礎編） 企画者：国分 貴徳			11:00～12:00 自主企画 シンポジウムⅡ パーキンソン病の家族会という互助の場が 地域にもたらす可能性 企画者：佐藤 斎	11:30～13:00
12:00 12:20～ 次期大会長挨拶				ポスター閲覧		ポスター閲覧
13:00 13:00～14:00 市民公開講座 いつまでも健康である ために 一人生100年 時代構想への貢献— 講師：藤縄 理 司会：武田 尊徳	13:00～14:00 セッション1 口 述 指定演題Ⅰ 臨床研究 座長：丸岡 弘	13:00～14:00 セッション4 口 述 運動器系 座長：松寄 洋人		13:00～14:00 セッション7 ポスター 1 神経系 座長：仙波 浩幸 2 内部障害 座長：高木 敏之	13:00～14:00 自主企画 シンポジウムⅢ ちびっこれんじゃー プロジェクト 未来会議 企画者：中島 愛	13:00～14:00 セッション9 ポスター 1 神経系 座長：河合 麻美 2 基礎系 座長：新井 武志
14:00 14:10～15:40 シンポジウム 理学療法評価 —若手がおさえるべき 評価の基本と実践— 座長：染谷 光一 シンポジスト： 運動器：山崎 敦 神 経：古澤 浩生 内 部：押見 雅義	14:10～15:10 セッション2 口 述 指定演題Ⅱ 地域での取り組み 座長：細井 俊希	14:10～15:10 セッション5 口 述 基礎系 座長：栗原 慶太		14:10～15:10 セッション8 ポスター 1 運動器系 座長：白井 誠 2 生活環境支援 座長：高橋 昌	14:30～15:30 自主企画 シンポジウムⅣ 脳卒中リハビリ テーションにおける 多施設共同研究の 取り組みと課題 企画者：深田 和浩	14:10～15:10 セッション10 ポスター 1 運動器系 座長：中俣 修 2 教育管理 座長：西原 賢
15:00 15:50～16:50 教育講演Ⅰ 急性期理学療法に 期待すること 講師：中村 康彦 座長：山口 賢一郎	15:20～16:20 セッション3 口 述 神経系 座長：望月 久	15:20～16:20 セッション6 口 述 内部障害 座長：秋山 純和		15:10～16:00 ポスター撤去		15:10～16:00 ポスター撤去
16:00 17:00～ 閉 会 式						
				埼玉県士会会員 懇親会		

Handwriting practice lines consisting of 30 horizontal dashed lines.

プログラム

講演プログラム

第1会場(ソニックシティホール 1階 大ホール)

オープニングリマークス 10:40～11:00

埼玉県理学療法源流

前園 徹(第27回埼玉県理学療法学会 学会長/上尾中央医療専門学校 学校長)

基調講演 11:00～12:20

座長: 前園 徹(第27回埼玉県理学療法学会 学会長/上尾中央医療専門学校 学校長)

埼玉が誇る理学療法 ―姿勢制御から考える動作評価―

星 文彦(公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 教授)

市民公開講座 13:00～14:00

司会: 武田 尊徳(上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科 係長)

いつまでも健康でいるために ―人生100年時代構想への貢献―

藤縄 理(埼玉県立大学 名誉教授
福井医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授)

シンポジウム 14:10～15:40

座長: 染谷 光一(埼玉県済生会栗橋病院 リハビリテーション科)

理学療法評価 ―若手がおさえるべき評価の基本と実践―

S-1 運動器

文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科 教授 山崎 敦

S-2 神経

リハビリテーション天草病院 古澤 浩生

S-3 内部

埼玉県立循環器・呼吸器病センター リハビリテーション科 押見 雅義

教育講演Ⅰ 15:50～16:50

座長：山口 賢一郎（上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科 科長）

急性期理学療法に期待すること

中村 康彦（全日本病院協会 副会長／上尾中央医科グループ 理事長）

第2会場（ソニックシティホール 2階 小ホール）

教育講演Ⅱ 11:00～12:30

座長：大熊 克信（さいたま市民医療センター）

がんの理学療法

高倉 保幸（埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科 教授）

シンポジウムプログラム

第3会場(ソニックシティホール 4階 国際会議室)

自主企画シンポジウムⅠ 11:00～12:00

「症例報告・研究論文」書き方講座！(基礎編) ～「理学療法-臨床・研究・教育」編集部～

企画者 国分 貴徳(埼玉県理学療法士会 学術局編集部/埼玉県立大学 理学療法学科)

第5会場(ソニックシティビル 地下1階 第2展示場)

自主企画シンポジウムⅡ 11:00～12:00

パーキンソン病の家族会という互助の場が地域にもたらす可能性

企画者 佐藤 斎(地域リハビリケアセンターこんばす春日部)

自主企画シンポジウムⅢ 13:00～14:00

ちびっこれんじゃープロジェクト未来会議 ～子どもの余暇支援を考える～

企画者 中島 愛(訪問看護ステーションつくし)

自主企画シンポジウムⅣ 14:30～15:30

脳卒中リハビリテーションにおける多施設共同研究の取り組みと課題

企画者 深田 和浩(埼玉医科大学国際医療センター)

一般演題プログラム

第2会場(ソニックシティホール 2階 小ホール)

セッション1 口述 13:00～14:00

[指定演題Ⅰ 臨床研究]

座長：丸岡 弘(埼玉県立大学)

01 吸入療法を併用した小児呼吸理学療法が有効であった一症例

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

小池 友和

02 肺切除術当日の早期離床の効果と端座位が達成できる因子の検討

独立行政法人国立病院機構 東埼玉病院

平野誠一郎

03 一側末梢前庭障害患者に対する前庭リハビリテーションの効果 ～身体機能の推移による検証～

日本保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科、目白大学耳科学研究所クリニック 耳鼻咽喉科

加茂 智彦

04 頸髄損傷改良 Frankel 分類 C 症例における急性期での歩行獲得状況と 下肢筋力目標値の検討

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部

濱田 勇志

05 当院における鏡視下腱板修復術後のプロトコルの違いによる 関節可動域の推移の実態調査

埼玉医科大学かわごえクリニック リハビリテーション科

白岡 岳人

セッション2 口述 14:10～15:10

[指定演題Ⅱ 地域での取り組み]

座長：細井 俊希(埼玉医科大学)

06 埼玉県地域包括ケアシステムモデル事業でのリハ専門職としての取り組み報告

医療法人啓仁会 平成の森・川島病院

石川 貴大

07 通所型サービス C による効果の検討

社会医療法人至仁会 圏央所沢病院

中村 徹

08 地域在住中高齢者の社会参加が一年後の心身機能に及ぼす影響

日本保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科

浅見 正人

09 地域における多職種での健康相談室

公設宮代福祉医療センター 六花、NPO 法人ヒューマンシップコミュニティ

原田 脩平

10 リハビリテーション関連職による地域での活動

西村ハートクリニック

長村 史朗

[神経系]

座長：望月 久（文京学院大学）

11 一側末梢前庭障害患者における ADL と身体機能の関連

日本保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科、目白大学耳科学研究所クリニック、
弘前大学大学院 保健学研究科 総合リハビリテーション領域

萩原 啓文

**12 脳梗塞による重度片麻痺長期経過後から開始した運動療法の考察
ー長下肢装具を使用した立位・歩行練習ー**

社会福祉法人埼玉医療福祉会 丸木記念福祉メディカルセンター

成田 秀平

**13 第5頸髄節麻痺に対する重力を考慮した肩甲骨周囲筋群の強化により
上肢挙上が可能となった一例**

医療法人聖人会 南古谷病院、埼玉医科大学大学院 医学研究科医科学専攻 理学療法分野

宮下 遥香

14 脳血管障害により四肢麻痺を呈した患者の嚥下機能を低下させる要因について

医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院

由田 紀美

**15 当院回復期リハビリテーション病棟における脳血管疾患患者の
アウトカム評価実績指数と入院時 FIM 項目の相関性**

医療法人親和会 鳳永病院

前田 賢宏

第3会場(ソニックシティホール 4階 国際会議室)

セッション4 口述 13:00~14:00

[運動器系]

座長：松 崎 洋 人(埼玉県総合リハビリテーションセンター)

16 股関節伸展制限下での歩行速度変化による歩容への影響

埼玉県総合リハビリテーションセンター 石井 佑穂

17 当院での人工股関節全置換術後主観的 QOL について 対側股関節の状態が日本整形外科学会股関節疾患評価質問票各項目に与える影響

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 白滝 智洋

18 コンピューターフリーソフトを用いた疼痛部位の面積測定方法の信頼性

医療法人社団秀匠会 わしざわ整形外科 スポーツ整形外科 柴崎 章文

19 運動療法により運動機能は改善したが骨格筋量は減少した虚弱高齢患者の報告

北里大学メディカルセンター リハビリテーションセンター 米澤 隆介

20 地域在住中高年男性の腹囲と BMI 高値の単独または併存の特徴

日本保健医療大学 保健医療学部 旭 竜馬

セッション5 口述 14:10~15:10

[基礎系]

座長：栴 原 慶 太(北里大学メディカルセンター)

21 自己治癒前十字靱帯の力学的特性に対して治癒期間が与える影響

埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 加納 拓馬

22 異常関節運動制動後の運動療法は軟骨の変性を抑制する

埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修、
医療法人 洋洲会 田中ファミリークリニック 岡 優一郎

23 末梢神経軸索断裂モデルマウスに対する運動介入は脱神経筋萎縮を抑制させ、 筋肥大を促進させる

埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科、埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 西元 淳司

24 時系列周波数解析からみた片脚立位保持の COP 動態の特徴

人間総合科学大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、
埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程 藤野 努

25 外側縦アーチ部の補高により歩行時の筋活動の変化が生じた 脳卒中右片麻痺に対する症例報告

医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 吉池 史雄

[内部障害]

座長：秋山 純和（人間総合科学大学）

26 胸郭測定器の開発と健常男性の胸郭扁平率

狭山神経内科病院 リハビリテーション科 芝崎 伸彦

27 膠原病疾患例における入院後の体組成の変化

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 小林 大祐

28 消化器がんに対する開胸・開腹術前・術後の下肢筋力の推移について
—世代別の検討—

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 岩田 一輝

29 急性心筋梗塞による oozing rupture 後、ノルアドレナリン投与中に離床を図り
早期に自宅退院が可能となった1症例

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院 宮村 健史

30 インターバルトレーニングが歩行能力向上に結び付いた低心機能の一症例

平成の森・川島病院 リハビリテーション科 松岡 廣典

第4会場(ソニックシティビル 地下1階 第1展示場)

セッション7-1 ポスター 13:00～14:00

[神経系]

座長：仙波 浩幸(日本保健医療大学)

- 31** 難治性てんかんに対し後方1/4脳梁離断術を施行した症例
～復職に向けての介入の検討～

医療法人 熊谷総合病院 リハビリテーション科 羽鳥 航平

- 32** Gait Judge System を使用して視覚的フィードバックを行った症例

医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 藤田 貴久

- 33** 化膿性脊椎炎後の安静臥床により生じた廃用症候群が歩行の再獲得を
遅延させた一症例

平成の森・川島病院 リハビリテーション科 森山 誠二

- 34** 完全閉じ込め状態を発症する前にできること
—合併症早期発見と環境設定に着目して—

狭山神経内科病院 リハビリテーション科 根本 寛美

- 35** 当院におけるてんかん患者へのリハビリテーションの取り組み

医療法人 熊谷総合病院 荒木 優佳

- 36** 頸髄不全損傷例の下肢支持性向上を目指したプログラムの再考

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 大久保裕也

セッション7-2 ポスター 13:00～14:00

[内部障害]

座長：高木 敏之(埼玉医科大学国際医療センター)

- 37** 心不全患者における CONUT 変法を用いた栄養状態と
FIM 効率・在院日数の関係について

埼玉県済生会栗橋病院 リハビリテーション科 吉澤 俊輔

- 38** 急性大動脈解離・腹部大動脈瘤を有し、新たに脳幹梗塞を発症した一症例について
—重複疾患に対するリスク管理の為の評価—

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 深川 忠隆

- 39** 当院の肺切除術リハビリテーションクリニカルパスを用いた介入効果の検討

国立病院機構 東埼玉病院 伊藤 玲

- 40** コレステロール塞栓症、Blue toe syndrome に伴う足趾潰瘍を呈した一症例
～装具療法と運動療法の併用的な介入～

埼玉県済生会栗橋病院 小林 宏至

41 消化器外科術後患者の屋外歩行獲得に関わる要因

医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院 福田 達郎

セッション8-1 ポスター 14:10～15:10

[運動器系]

座長：白井 誠(有限会社仁)

42 多関節に人工関節を有し左人工股関節置換術を施行した肥満症例に対する理学療法の経験

医療法人社団和風会 所沢中央病院 リハビリテーション科 長崎 理

43 右上腕骨近位端骨折3part 骨折(Neer 分類)を呈した症例に対する保存療法

医療法人至誠堂(社団) 至誠堂整形外科 リハビリテーション部 理学療法課 関 信彦

44 慢性腰痛に対する効果的なストレッチングとは？

医療法人 熊谷総合病院 高野 利彦

45 右下腿切断者における義足の足部選定において、 2種類の足部を主観的評価と床反力を用いて決定した症例について

社会医療法人 さいたま市民医療センター 遠藤 翔太

46 原因不明の首下がり症状を呈し頸部痛を生じた症例

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 診療技術部リハビリテーション技術科 吉野 晃平

47 投球時に肩甲骨内側部痛を呈する一症例

医療法人名圭会 白岡整形外科 黒尾 元基

セッション8-2 ポスター 14:10～15:10

[生活環境支援]

座長：高橋 昌(介護老人保健施設シルバーケア敬愛)

48 当院におけるウィメンズヘルスリハビリテーション ～女性泌尿器科リハビリ外来の取り組みと挑戦～

春日部中央総合病院 井澤 美保

49 退院時 motor-FIM に影響する因子の検討 —縦断的栄養視点からの検討—

社会福祉法人埼玉医療福祉会 丸木記念福祉メディカルセンター リハビリテーション科 関口 淳史

50 回復期リハビリテーション病棟入院より社会参加を促す時期の検討

医療法人 和会 武蔵台病院 関根 直哉

51 内科病棟における ADL 維持向上等体制加算の専従療法士配置の効果と
課題について

医療法人 熊谷総合病院 権田 知之

52 第二回上尾市内デイサービス合同交流会の活動報告

リハビリデイサービス アクティ 仲里 到

53 A 市役所における職員を対象とした一次予防の取り組み

医療法人社団 愛友会 訪問看護ステーションゆーらっぷ 講内 源太

セッション9-1 ポスター 13:00～14:00

[神経系]

座長：河合 麻美(リハビリママ & パパの会)

- 54 回復期病棟入院中の脳卒中片麻痺患者に HAL を使用した症例報告
～2動作揃え型から2動作前型に歩行様式の変化がみられた症例～

社会医療法人至仁会 圏央所沢病院 内藤 大地

- 55 ロボットスーツ HAL を使用した事で歩行能力が改善し在宅復帰可能となった症例
～脊柱管狭窄症と既往に頸髄損傷があり歩行能力が向上した症例～

社会医療法人至仁会 圏央所沢病院 山口 賢人

- 56 麻痺側下肢の振り出し困難な脳卒中片麻痺患者への治療介入
—麻痺側と非麻痺側の関係性を考えて—

医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院 酒井真由美

- 57 重度の褥瘡を呈する脊髄不全損傷患者への移乗動作の検討

医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院 リハビリテーション部 新垣 貴大

- 58 起立性低血圧症状を呈した頸髄損傷患者に対し間欠的空気圧迫法を行い離床を促した症例

狭山神経内科病院 リハビリテーション科 椎野 早紀

- 59 外傷性くも膜下出血(保存療法)後に頭痛・頭重感が残存した症例

医療法人 熊谷総合病院 鈴木 健太

セッション9-2 ポスター 13:00～14:00

[基礎系]

座長：新井 武志(目白大学)

- 60 表面筋電図周波数解析を用いた脳卒中者の随意運動評価に関する研究

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 星 文彦

- 61 フィードバックが関節可動域測定技術の習熟に与える影響

医療法人社団医風会 さいたま岩槻病院 三田村香穂

- 62 回復期リハビリテーション病棟入院患者における諸機能および能力の変化

国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 理学療法学分野、専門学校 医学アカデミー 理学療法学科、
医療法人瑞穂会 川越リハビリテーション病院 古谷 友希

- 63 回復期リハビリテーション病棟入院患者の退院先に影響を与える因子について

医療法人 熊谷総合病院 竹内 博史

[運動器系]

座長：中俣 修(文京学院大学)

- | | | | |
|-----------|--|----------------------------------|-------|
| 64 | 長時間立位により鼠径部痛が増悪した症例に対する
運動機能障害症候群分類に基づいた評価と介入 | 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 | 丸毛 達也 |
| 65 | 当院職員を対象としたストレッチを用いた腰痛予防
ーストレッチ回数と治療効果の関連性の検討ー | 医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 | 戸住 貴信 |
| 66 | 自動運動を用いた仙腸関節への介入が下肢・体幹筋力に及ぼす影響について | 医療法人真尋会 山川整形外科 リハビリテーション科 | 伊倉 正樹 |
| 67 | 起立及び着座動作の筋電図的解析 | 日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 | 岩坂 憂児 |
| 68 | 両股関節離断症例の基本動作・車椅子 ADL 獲得までの理学療法経過 | 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 | 富樫 健太 |
| 69 | 股関節での重心移動を意識して介入した結果歩行の安定化が図れた症例
～T字杖歩行自立に向けて～ | 社会福祉法人 埼玉慈恵病院 リハビリテーション科 | 古澤 誠也 |
| 70 | 大腿骨転子部骨折患者に対して Gait Judge System を用いて
視覚的フィードバックから歩行自立を目指した症例 | 医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 | 吉田 寛也 |
| 71 | 大腿骨近位部骨折患者の術後1日の血液データを用いた荷重時痛の予測
Creatine Kinase と C reactive protein に着目して | 医療法人社団協友会 越谷誠和病院 リハビリテーション科 | 小林 溪紳 |
| 72 | 大腿骨近位部骨折患者の術前の恐怖回避思考は慢性痛に影響をあたえるのか | 医療法人社団協友会 越谷誠和病院 リハビリテーション科、整形外科 | 那須 高志 |

[教育管理]

座長：西原 賢（埼玉県立大学）

73 当院リハビリテーション室におけるエコー検査の導入

医療法人三和会 東鷲宮病院 梅村 諒太

74 埼玉病院リハビリテーション科急変時対応への取り組みと
アンケートからわかったこと

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 田中 透

75 危険予知トレーニングの実践と効果
～インシデントレポートによる比較検討～

医療法人藤田会 西武川越病院 原 和帆

講演抄録

基 調 講 演

市民公開講座

教 育 講 演

シンポジウム

自主企画シンポジウム

埼玉が誇る理学療法 —姿勢制御から考える動作評価—

星 文彦

公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 教授

人の運動行動は、運動技能が基盤となっていることは言うまでもありません。運動技能は、運動発達で見られるように、一般的に粗大運動技能(gross motor skill)と巧緻運動技能(fine motor skill)に区分されます。粗大運動技能は姿勢やバランスを維持しながらの動作、いわゆる起居移動動作であり、一方、巧緻運動技能は、姿勢やバランスが安定した状況下での動作で、いわゆる手指動作、卓上での操作動作であります。ご承知のように、理学療法における治療対象、あるいは介入対象は粗大運動技能、いわゆる起居移動動作であり、理学療法士には姿勢制御の理解に基づく機能の評価と治療が要求されます。ここでは、機能を日常活動に必要な姿勢を維持することと平衡を維持する機能、いわゆるバランス機能と定義することにします。

姿勢制御の理解と介入アプローチの変遷は、反射階層理論からシステム理論、さらに課題指向型アプローチへと変化してきました。また、姿勢制御が求められる活動場面においては、時系列の観点から予期的姿勢制御(proactive control)、予測的姿勢制御(predictive control)、応答的姿勢制御(reactive control)に区分され、臨床的、実践的な理解が進んでいます。動作の評価を考えるために、これらの姿勢制御について研究パラダイムの変化を踏まえ議論することになります。

理学療法評価は、リハビリテーション医療の中で、生活機能モデル及び障害構造モデルの2つのモデルに従ってなされますが、ここでは、構造・機能、活動、機能障害、機能的制限、および活動制限の各レベルにおける理学療法評価の基本的考え方について、因果性と関係性の観点から議論することになります。

動作は、個人・課題・環境の三者の相互作用の結果発現されるもので、通常は最も合理的な運動パターンが観察されます。動作は姿勢の変化であり、姿勢は身体重心位置で表象されるので、動作中の身体重心位置は最も合理的な軌跡を描き、その時に観察される運動パターンは理念型、いわゆる正常パターンとして認識することができます。その理念型を基準に動作観察がなされ、問題点の抽出と要因の推察がなされます。ここでは動作の異常性について理念型と合理性の視点から議論することになります。

本講演では、姿勢制御の理解と介入アプローチの変遷、理学療法評価と障害構造、動作の成り立ちと観察の視点などを論点に、意見交換が出来れば幸いと考えています。

第27回埼玉県理学療法学会
プログラム・抄録集

学会長：前園 徹

事務局：学校法人康学舎 上尾中央医療専門学校
〒362-0011 埼玉県上尾市平塚678-1

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

